

# 「目標人口5万人」の 取り組みは

井星 喜文 議員

## 答 私に与えられた課題として 取り組む



古川小卒業式・卒業生19名  
(S35年度卒業生105名、H元年度卒業生50名)

**問** 将来推計人口によれば、筑後市でも平成47年には年少人口が37%減少、労働人口が18%減少、高齢人口は36%増加、後期高齢人口は77%増加する。人口減少、少子化は喫緊の課題だがその対策は。

また労働人口の減少に伴う税の減収、高齢化に伴う介護保険料等の負担増の予測は。

**市長** 24年度から、更に人口5万人の住み良いまちを目標に定住促進の取

り組みを強化する。

**税務課長** 24年度個人市民税17億9,400万円を例にとると、3億2,290万円の減収となる。

**介護保険課長** 平成47年推計値は要介護認定数3,022人(26年の1.52倍)、年間給付額は52億円(26年の1.52倍)介護保険料基準額は8,550円(26年の1.76倍)となり健康づくり事業や介護予防事業、在宅介護等の強化が必要だ。

**子育て支援課長** 少子化対策には、医療費、保育料等の負担軽減や保育サービス支援など子供を産み育てやすい環境整備が必要だ。

**問** 人口減少は、市民に高負担をもたらす。人口5万人へ向け各課とも知恵を出し合って頂きたい。

## 武道の必修化 市の対応策は

村上博昭 議員

**問** 中学校において平成24年度より新学習指導要領が実施されるが、本市の保健体育への武道導入に対する理念、方針は。

**学校教育課長** 1、2年生の段階では、基本動作や基本となる技の習得。健康や安全に気を配り礼に代表される伝統的な態度や行動を身につける。

3年生では得意技を身につけ、相手を尊重することなど健康や安全面を確保し、武道の伝統的な態度を大切にすることが求められる。

**問** 柔道、剣道、相撲等の中で、本市3中学が最も危険だと言われる柔道を選択した理由は。

**学校教育課長** 男女ともに取り組んでいる競技であり、財政的負担の面を考慮した上で選択した。

## 生徒の安全面の確保は

**問** 柔道の授業を安全かつ円滑に実施する方法は。

**学校教育課長** 指導方法の工夫、体育教員の指導技術の向上、施設面の管理整備等により事故が発

**答** 危険回避のため指導力の向上と施設面を改善

生する要因を減らしていくような取り組みを行う。

**教育長** 学校主事と実際に道場に入り状況を視察。その後管理職と安全性の確認を行っている。また校長会と連絡を取りながら特に注意を払っていききたい。



安全・円滑な授業実施を望む